



NO-69

H5.3.1

-発行-

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

戸塚ヨット事件

理事長 田中 稔

皆さんはこの事件を覚えておられますか？。今から10、15年位前になりますでしょうか。

戸塚宏校長の率いるヨットスクールにおいて、情緒障害児等に対して行われた暴力的な訓練によって訓練生が死亡したり行方不明になったとされる事件です。

昨年名古屋地裁で判決が出ました。

先日、熊本日日新聞に砂川真澄さんが記事を書いておられるのを機にその判決文（全文約四百ページ）を知人にお願ひし、送って頂きました。何度か途中で放り出そうかと思いつつ中断しながら読み終えました。

判決文は主文、判決骨子、判決

要旨、終わりに争点に対する判断量刊の事情という構成です。人間が社会を作り、生きていく為に考え出された裁判という制度がこの事件に対してしている事は常識を越えた部分の暴力、監禁に対する判断だけです。この点に関しては事実を一つ一つ積み重ねるという通常の方法をきちんと取っています。従って、裁判そのものは『ひどい』ものではなく『公平』です。暴行や監禁そのものを裁いているわけではありませんし、この事件の背景にある社会そのものの在り方、社会制度、親子関係、人間の在り方、価値観といったものについてはずかしく『争点に対する判断』の中で述べてはいるが裁いてはいません。

まして情緒障害については一切

触れていません。

状況の全体像から言えば、有名大学という目標を幼小期より子供に押し付け、人生の選択の巾を狭くし子育てを有名私立進学校に任せている様な事とそれ程異なるところはありません。

この事件を社会的に裁くという役割を演じてみせたのはマスコミであつたらうと思われませんが、所詮底の浅い薄っぺらなものであつた事はマスコミ自身がその程度のものにしかすぎないという実情であれば当然の成り行きです。

私が一人で自閉施設作りに駆けずり廻っていた頃、ある場所で医師会の幹部に『戸塚ヨットスクールを作るのか』と言われた言葉は自閉症という障害がこの程度しか理解されていないのかという想いと共に閉鎖社会である入所施設を作った者として決して忘れられません。

戸塚事件は私達一人一人の行き方とかかわっている事なのです。

療育シリーズ

言葉と思考

園長 土井尚典

入浴指導中によく起きる園生とのやり取りを紹介します。園生が浴室に入ると来ると風呂椅子に腰掛けます。「洗面器にお湯汲んで下さい。」「タオルを濡らして下さい。」「石鹸付けて下さい。」
 と言って石鹸を付け始めるのを確認して他の園生を見ます。通常は3人を一度に指導します。目を離すと3人とも石鹸を付けるのを止めてそれぞれに各自の好きなことややっていることがあります。「石鹸を付けなさい。」と一括すると、Aくんは慌てて石鹸を取り、石鹸を付けはじめます。Bくんはタオルを急いで濡らします。Cくんは洗面器を探します。

この3人の例は、Aくんだけが「今、何をすることが分かっている」ように見えますが、自閉症の園生の思考から考えますと3人

とも「今、何を指示されているか」が分かっています。指示の切れ目が分からない訳です。Aくんは最後の指示「石鹸」に依存している訳です。Bくんは「タオルから石鹸」迄が1つの指示で今の指示になる訳です。Cくんは当然「洗面器からタオル、石鹸」までが1つの指示として認知されている訳です。

ここでBくん、Cくんに「違よ、石鹸でしよう。」と言うと、Bくんは容易に石鹸に移れますが、Cくんは移れません。Cくんはタオルを濡らそうとします。見ている側からするとCくんは気が動転しているように見えますが、Cくんにとっては一連の動作であり本人にとって当たり前のことがあります。情報処理のまずさのようにも見えますが、Bくん、Cくんには単なる思考のプロセスかも知れません。

ところが、B・Cくんのようなタイプは新しい指示、例えば質問

を次々と出して行くと今出した質問に答えず、ぶつぶつ言い出して、2つ前や1つ前の質問に答える事が見られます。たくさんの違う質問を行うと頭の中で「質問、答え、質問、答え・・・」と反復され「ぶつぶつ」というつぶやきになる訳です。このことが障害である訳です。障害だと分かると質問の切れ目を作ってあげることでは解決することがあります。私の経験では質問は「ゆっくりと大きな声で言葉を区切って言う」よりは「短く早口で言う」方が分かり易い事が多いようです。相手の答えに対するやり取りは普通の調子でやっています。



成人式 Part 2

前田澄子

天気を気にしながら朝六時、昌弘の晴姿を一目見ようと車に乗り込み、天草路を走りました。天草五橋を通る頃雨も止み夜もしらじらと明け、九時頃三気の里に到着。まだ、時間が早かったので車の中で30分程待ちました。

部屋に行き昌弘に合いました。

私達の顔を見ると、「今日は成人式の日。」と言ってニコニコしていました。今から何が始まるのか本人にはわかっていない様子です。新しい下着、ワイシャツに着替えてネクタイをしめスーツを着不安そうにしています。お友達に「マークくんおめでどう。」と言われ、落ち着かない様子です。履きなれない靴を履きひきずるように歩いていました。皆さんに見送られて大津町民センターへ。式場には大塚先生もみえ、花束を頂きました。会場では落ち着いている事

が出来るか心配でしたが案外静かに出来、安心致しました。これから本人楽しみの食事会です。「レストラン、レストラン。」と繰り返し喜んでいました。記念植樹を済ませ成人式の日程も無事終わりました。ホッととして帰りの車に乗り家に着いた時は真っ暗でした。園長先生をはじめ、沢山の先生方に祝って頂きありがとうございます。今日一日のこと一生忘れないと思います。



《お礼》 西村産婦人科医院様よりお米（3俵）を寄付して頂きました。有難うございました。

懇親会

魚谷郁子

二月十一日保護者会の懇親会を長嶺町の神園山荘にて行いました。多くの参加を願っていたのですが、保護者十七名、先生方三名で広間の中央にこじんまりと置かれたテーブルを囲みました。期日？場所？時間？何が原因かなと思いつながら少し淋しい開会でした。懇親会という事で堅苦しい挨拶はなし。山口先生に男児誕生という朗報も舞い込んで一同明るく乾杯。気のおけぬ仲間、先生方、本音が飛び交い笑いあり、何かと緊張の多い保護者の気持ちをときほぐすかのように始終リラックスマード。その中で三気の里や子供への思いは立場は違っても先生方も私共も同じだと感じました。わずか二十名での宴、しかしお互いの気持ちに触れ合い、懇親を深め満たされた思いで甲斐さんの万歳三唱の音頭に唱和しました。

2 班 苺狩り

春一番が吹き、三気の里も春の訪れを感じています。

2月4日の2班レクリエーションは、横島町に苺狩りに行きました。ハウスの中は、すっかり春の陽気でした。ハウスの畝の間に座って両側の苺を摘み取ってはおいしそうに食べているのは文ちゃん。「甘くなーい。」と、ちょっと不満そうなのは龍也くん。上品に食べては袋の中にへたを入れているのは、泰ちゃん、建ちゃん、英輔くん。坂井さんのバックを大事そうに抱えている英くん。ほかほか亭のからあげ弁当に大喜びの浩ちゃん。

あっこちゃんが手の怪我で参加できなかったのが残念でした。今度は、みんなそろってハイキングに行こうね。 高橋

3 班 は～や～く来い！

もうすぐ春…と思ってウキウキしていたのもつかの間。真冬日が続き、雪が降り、三気の里の園内には、2度目の風邪（インフルエンザ）が流行しました。

25日は3班のみんなと、お父さん・お母さん方と一緒に豪華な食事会を予定していたのですが、風邪の為やむをえなく中止となってしまいました。（3班のメンバーのほとんどがダウンしていたのです。）とっても楽しみにしていたみんなは、あきらめきれない様子で「レクリエーション、ま～だ。」「レクリエーション、待っててね。」と言う人も…。今回は残念だったけど、次回の宿泊レクは、みんな元気に参加して2回分楽しもうね。

♪春よ来い、早く来い！

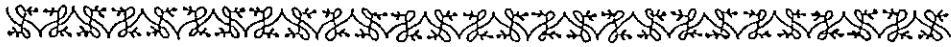
今村

4 班 “春” は味覚と野球観戦かな～

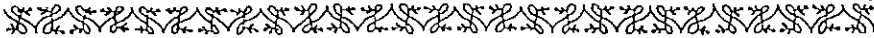
“春”といえはいろいろな春の味わいがありますが、4班は今年の春を、宮崎の日南で行われている巨人軍のキャンプの見学と、人吉の玄海というお店で味わってきました。

この日は、天気にも恵まれたこともあって野球場は、練習を一目見ようと集まってきた人でいっぱいでした。そこでひかえめな三気の里のみんなは、一塁側の外野席から熱いまなざしで（職員が主ですが…。）見て来ました。みんなも初めての野球観戦で最初は何だろうという感じだったのですが、「野球」と指さすゆうこちゃんや、練習を真剣なまなざしで見ている宏幸くんなどとてもよい経験になったようでした。

人吉の“玄海”での夕食は、新鮮な魚の料理をたくさん食べられる豪華な食事となり、みんなは、一層輝きました。また、その後、温泉にも入れたので、みんなにとってもですが職員にとっても楽しいフルコースの一日でした。橋本



はなはな



1 班 春和み

暖かいポカポカ陽気に包まれたある日の午後、寒い季節は室内に閉じ込もってばかりいた（ちゃんと作業はしていましたヨ。）1班の園生と職員が皆一斉に外へと出て行きました。何をするかといえば、冬場放ったらかしにされていた畑の手入れ、ネギは自然に育ち今では厨房に卸されるようになり、大根はまさに根性で大きくなり漬物へと加工され、ハウレン草もあと2～3週間で収穫できるまでに育ちました。園生は久しぶりの畑作業だというのに草とりをしたり一輪車で堆肥置き場まで何度も往復したり（1人とんでもない方向へ行った園生もいましたが。）あんなに畑作業の嫌い!?だった園生達が、とっても良く働いているのに心和まされたのはやはり春だからでしょうか。 田辺

外作業班 花一杯の春をめざして

富田さんが園芸作業を始めて、およそ9カ月ほどがたちました。夏の暑い時期に夏バテにもめげずに花壇を作り、今では水仙、パンジーの花が咲き、私達を楽しませてくれています。

先日、富田さんと新しい花壇を作るために、またまた土手に穴を掘っていると、配達に来られた郵便局の方が私達の横にバイクを止めて、「今度はなんば植ゆっとね？」と声をかけて来られました。私達は顔を見合わせて「レンギョウとアベリヤ。（まだ見たことがない…）」と答えると、「がんばってね。」と言って仕事に戻って行かれました。富田さんは、花が咲くのがとても楽しいようですが、花壇を広げ、花を育てて行く様子を「次はどうなるかなあ」と暖かい目で見守り楽しみにして下さっている人もいるのだということに初めて気が付き、心温まる思いでした。この日の事は、富田さんにとっても励みになった様子。ますます張り切って花壇作りに精を出しています。 平川

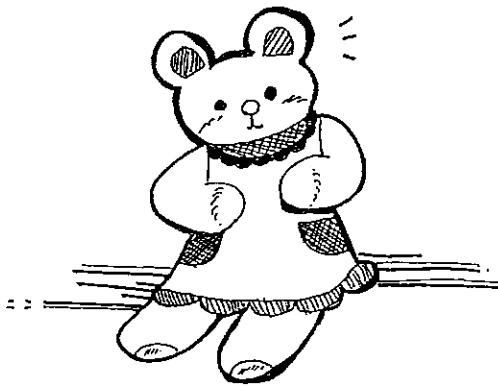
研修報告



木下昭二

2月6日～7日の日程で、埼玉で行われた日本自閉症協会主催の自閉症児者療育指導者研修会―教材・教具による指導の実際―に園長と2人で参加しました。私自身最初はこれだけの情報だけで参加したのでどんな内容の事をするのか、どういった教材を使うのか判らず楽しみをもって望みました。実際の内容としては、前・三重県立小児心療センターあすなろ学園の園長をされていた十亀史郎先生を中心としたメンバーが、自閉症の症候論を神経心理学的な立場から整理され、自閉症児の苦手とする「イメージ」を想起させることを通して脳機能の発達と感情的な交流を高めるために開発された教材で「イメージの再現学習」と呼ばれ2日目には、実際に自閉症児

に対しての教材を使った学習を見せていただきました。早速熊本に帰り、特に興味深かった教材を取り寄せ心待ちにしている所です。それまでに私の技術も磨かねば…とても勉強になった研修会でした。



食堂営業中

まだまだ寒さが厳しい今日この頃ですが、そんな寒さを忘れるような暖かい話をしましょう。

日曜には、在園生が少ないので、余りやった事のない鍋ものに挑戦しました。

10時になると、水たきの材料の切り込みに園生のみんなが手伝いに来てくれました。中でも、ここぞとばかりに本領発揮のSちゃん、H君。まるで厨房職員の様に巧みな早業で野菜を切ってくれました。予想以上に早く済み、今度はなんと、夕食の切り込みまで手伝ってくれたのです。

12時になると、早速みんなで鍋を囲んで食べ始めたのですが、おかわりが早くて職員はてんでこまいでした。

でも、おいしく楽しく食べる事ができたので、機会があればまたやりたいと思います。金丸・前田

ぼらんていあ通信



（ボランテアありがとう）
☆ブラッシング指導
森隆子

☆作業ボランテア

梅田 園田 相良 蒲池 内村

☆散髪

坂本シマコ 源造マスマ

☆清掃

古閑由紀子 遠山一恵

※お詫び

先日、天使園より環境整備のボランテアに来て頂きました。先月号で掲載されていなかった事をお詫び致します。

（敬称略）

春の陽気かなと思っていれば、突然雪が降り出し冬へと逆戻り…。天候がコロコロ変わる中、三気の里では風邪が猛威を奮って沢山の園生が風邪に倒れました。

そんな風邪も吹き飛ばそうかと3月20日（土）三角にある『自然の里』へ奉仕作業（ボランテア学習会）へ行く予定中です。一緒に心地よい汗をかきませんか？連絡を待っています。

※3月13日締め切り（担当山中）

いよいよ学生の皆さんは、進級・進学又は就職とそれぞれの道に進まれ忙しいと思いますが、暇を見つけては、どんどん遊びに来て下さいね！

又、その他色々な方々が遊びに来て下さる事を心待ちにしています。
山中



ちよつと気になる

栄養養の話題



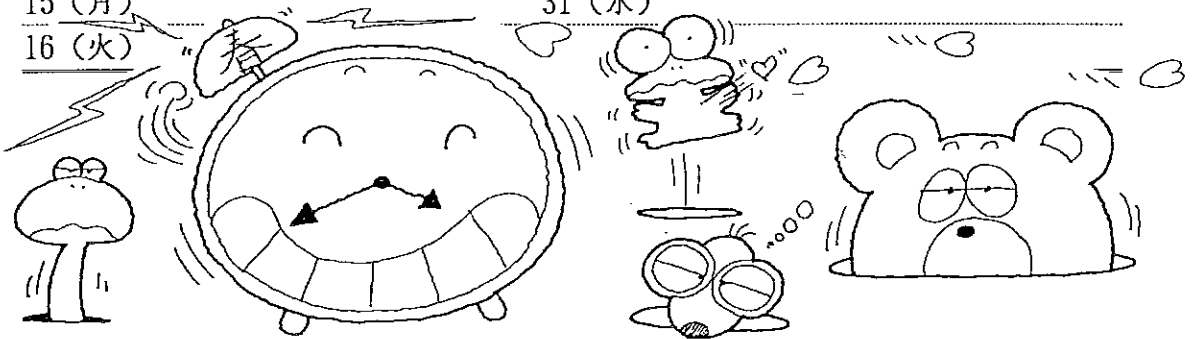
「食品中のビタミンとビタミン剤、どう違う？」—含まれるビタミン自体はほとんど違いありません。例えば、毎10個のビタミンC（1個の中に14mg含む）と140mgのC剤とは同じものと言うことが出来ます。しかし、食品中には多種類のビタミンが含まれているので、実際には食品の方が相乗効果もあり、効力は異なるとも考えられます。一方、ビタミン剤にも食品にない利点があります。それは、食品中のビタミンが、輸送、保存、調理の過程で少しずつ失われていくのに対し、ビタミン剤は損失が少なく、吸収率が高いという点です。

一番良いのは、こういう化学物質を使わず、食品で補うという事です。生野菜のサラダ、果物など、食卓に上手に取り入れてみましょう。

前田

3月の行事予定

1(月)	17(水)
2(火)	18(木) 外作業班宿泊レク
3(水) 体重測定	19(金) ↓
4(木)	20(土) シーツ交換・VO学習会
5(金) 3班宿泊レク	21(日)
6(土) シーツ交換↓	22(月)
7(日)	23(火)
8(月)	24(水) 大掃除
9(火)	25(木) 4班レク
10(水)	26(金) 帰宅日(帰帰宅バス運行)
11(木) 1班レク	27(土) 職員園内研修(26日から)
12(金)	28(日) 2班レク
13(土) 帰宅日、父兄会	29(月)
14(日)	30(火)
15(月)	31(水)
16(火)	



後援協会入会

ありがとうございます

塚本謙二 田中恭子

村井友春

小山胃腸科内科クリニック

二月二十六日付け

※敬称略

2月もあとわずかとなりましたが、雪もちらつき寒い日が数日続いております。

先日は、寄付領収書をご送付致しましたが、早々に申込書を返送頂きありがとうございました。お手紙も添えて下さったり、またご寄付を頂いたり皆様のお心くばりを感じました。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

編集後記

園生も職員も風邪でダウン。気合で乗り切る編集メンバーでした。